



令和6年3月21日

東京都千代田区四番町5番地3  
科学技術振興機構（JST）  
Tel：03-5214-8404（広報課）  
URL <https://www.jst.go.jp>

## 次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）における 令和6年度新規プロジェクトの決定について

JST（理事長 橋本 和仁）は、「次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）」における新規プロジェクト76件を決定しました（別紙1）。うち10件は今回の公募により新たにSPRINGを実施することになった大学です。

本事業は、博士後期課程の学生が研究に専念できる環境を整備し、卓越した博士人材の育成や輩出を目指す事業です。博士後期課程の学生は、日本の科学技術・イノベーションの将来を担う存在ですが、近年、「博士課程に進学すると生活の経済的な見通しが立たない」「博士課程修了後の就職が心配だ」といった理由から、修士課程から博士後期課程への進学者数や進学率が減少傾向にあり、危機的な状況が指摘されています。そうした状況を踏まえ、本事業では、既存の枠組みを越えて優秀な博士後期課程の学生の選抜などを行う事業統括を選定し、当該事業統括により選抜された学生に対する生活費相当額および研究費の支給や、キャリア開発・育成コンテンツの提供を始めとする多様な支援を行います（参考）。

今回の公募は、令和5年11月24日（金）から12月25日（月）まで行い、外部専門家で構成された委員会による審査（別紙2）を経て、76件の支援プロジェクトを決定しました。

詳細については、下記ホームページをご覧ください。

ホームページURL：<https://www.jst.go.jp/jisedai/index.html>

### <添付資料>

別紙1：「次世代研究者挑戦的研究プログラム」採択プロジェクト・事業統括一覧

別紙2：「次世代研究者挑戦的研究プログラム」委員会 委員一覧

参 考：「次世代研究者挑戦的研究プログラム」公募概要

### <お問い合わせ先>

科学技術振興機構 助成事業推進部 博士学生支援グループ

〒102-0081 東京都千代田区四番町4番地2

正木 法雄（マサキ ノリオ）

E-mail：[jisedai-application@jst.go.jp](mailto:jisedai-application@jst.go.jp)

※お問い合わせは電子メールでお願いします。

### **<科学を支え、未来へつなぐ>**

例えば、世界的な気候変動、エネルギーや資源、感染症や食料の問題。私たちの行く手にはあまたの困難が立ちはだかり、乗り越えるための解が求められています。JSTは、これらの困難に「科学技術」で挑みます。新たな価値を生み出すための基礎研究やスタートアップの支援、研究戦略の立案、研究の基盤となる人材の育成や情報の発信、国際卓越研究大学を支援する大学ファンドの運用など。JSTは荒波を渡る船の羅針盤となって進むべき道を示し、多角的に科学技術を支えながら、安全で豊かな暮らしを未来へとつなぎます。

JSTは、科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割を担う国立研究開発法人です。

## 「次世代研究者挑戦的研究プログラム」採択プロジェクト・事業統括一覧

(大学名五十音順)

大学名	事業統括	プロジェクト名
青山学院大学	長 秀雄	AGUフューチャーイーグルプロジェクト (AGU Future Eagle Project)
秋田大学	山村 明弘	グリーン社会の実現を目指す資源学と理工学の共創型博士人材育成プログラム
茨城大学	武田 茂樹	サステナブルな社会の構築に資する高度科学技術人材育成プロジェクト
愛媛大学	八尋 秀典	愛媛から世界をめざす学生のための博士人材育成プログラム - EUSPRING -
大阪公立大学	重松 孝昌	リゾーム型研究者人材育成による学際知ブルーミング
大阪大学	森井 英一	学際融合を推進し社会実装を担う次世代挑戦的研究者育成プロジェクト
岡山大学	菅 誠治	高度な知識と未来思考で社会変革を導く博士人材育成プログラム (OUSPRING)
香川大学*	秋光 和也	地域密着型イノベーションを可能とする次世代研究者育成プログラム
金沢大学	森本 章治	「知」の共創と往還で実現する新価値創造人材育成プロジェクト
鹿屋体育大学*	前田 明	鹿屋体育大学次世代A. C. E. 博士人材育成・強化プロジェクト
関西大学	山本 秀樹	次世代を生き抜くための「考動力」と「革新力」を兼ね備えた博士人材育成プロジェクト
北九州市立大学	加藤 尊秋	地域で育て地域を興す博士後期プログラム (第2期)
岐阜薬科大学	檜井 栄一	薬学系融合研究を推進する将来のリーダー人材の育成
九州工業大学	中藤 良久	グローバルエンジニア型博士人材育成プロジェクト

九州大学	君塚 信夫	九州大学 未来を拓く博士人財育成プログラム
京都工芸繊維大学	堀内 淳一	京都産学共創による分野横断型イノベーションリーダー人材育成プログラム
京都産業大学	加藤 啓子	将来の社会を担って立つ博士人材の育成
京都大学	平島 崇男	京都大学大学院教育支援機構 (D o G S) S P R I N G プログラム
京都府立医科大学	八木田 和弘	京都府立医科大学 Medical Innovation フェローシップ
熊本大学	高島 和希	B e t t e r C o - b e i n g 社会を切り拓く異分野共創型 博士イノベーター育成プログラム
群馬大学	林 邦彦	次世代グンマ創発的博士人財インダクションプログラム
慶應義塾大学	泰岡 顕治	未来のコモンセンスをつくる博士人材の育成
高知大学※	津江 保彦	次世代海洋資源研究者育成プロジェクト
甲南大学	村嶋 貴之	地域連携プラットフォームを活用する産学・官学連携インターンシップ等によるトランスレーショナル人材の育成
神戸大学	大村 直人	異分野共創による次世代卓越博士人材育成プロジェクト
静岡大学	川田 善正	光医工学とグリーン科学を基盤とした超領域博士人材育成プログラム
芝浦工業大学※	中村 仁	国際連携・産学官民連携によるシグマ型博士人材の育成
島根大学	齋藤 文紀	持続可能な社会構築に向けた島根大学高度人材育成プロジェクト (S - S P R I N G)
上智大学※	高井 健一	持続可能な社会の未来を拓くグローバル博士人材育成プロジェクト (S o p h i a S P R I N G P r o j e c t)
信州大学	平野 吉直	次世代高度人材「地域発科学技術革新志士」育成プログラム

千葉大学	斎藤 哲一郎	全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト
中央大学※	梅田 和昇	イノベーションの展開に貢献する人材養成の博士後期課程プログラム (D-CPR A : C h u o P r o m o t i o n f o r R e s e a r c h A c t i v i t i e s i n D o c t o r a l C o u r s e s )
中部大学	宮浦 千里	創発的分野融合により地球規模の社会課題へ挑戦する博士人材の養成
筑波大学	加藤 光保	学問分野の壁を超えて多様な人材と共創できるトランスボーダー型価値創造人材育成プロジェクト
電気通信大学	米田 仁紀	博士学生の独自ネットワーク形成・自主運営を利用した開発主導型研究・教育支援プログラム
東京医科歯科大学	磯村 宜和	TMDU統合知と癒しの次世代フロントランナー育成プログラム (略称 : TMDU-SPRING)
東京海洋大学	井関 俊夫	SPRING TUMSAT 2 (第二期 創発的海洋研究・産業人材育成支援プロジェクト)
東京工業大学	齊藤 滋規	Tokyo Tech 総合知と癒しの次世代フロントランナー育成プログラム
東京大学	大越 慎一	グリーントランスフォーメーション (GX) を先導する高度人材育成
東京都市大学	田口 亮	アジア大洋州地域の発展をリードするアントレプレナーシップ能力を備えたグローバル人材育成プログラム
東京都立大学	堀田 貴嗣	領域リフレーミング (A r e n a R e f r a m i n g : A R) 双対型博士人材育成プロジェクト
東京農業大学	志和地 弘信	グローバルで食料生産向上に挑戦する高度人材養成包括的プロジェクト
東京農工大学	長澤 和夫	FLOuRISHフェロシップ事業
東京薬科大学	降幡 知巳	東京薬科大学未来医療・共生社会創造人育成プロジェクトBUTTOBE-NEXT-Beef Up Toyaku Talents to go BEYOND the borders for NEXT era leaders-
東京理科大学	倉淵 隆	イノベティブ博士人材育成のための共創力強化プロジェクト

同志社大学	小原 克博	同志社大学大学院博士課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト
東北大学	山口 昌弘	東北大学高等大学院博士後期課程学生挑戦的研究支援プロジェクト
東洋大学	北脇 秀敏	健康と人間の安全保障のための哲学を持つ多様な挑戦的研究者育成プロジェクト
徳島大学	安友 康二	研究クラスターを核とした学際的イノベーション人材の育成ー徳島大学うずしおプログラムー
富山大学	田端 俊英	「立山連峰プログラム」～専門領域の頂点に登攀(とうはん)し、異分野への縦走を展開できる次世代イノベーション人材育成～
豊橋技術科学大学	南 哲人	実践的イノベティブ博士人材育成プログラム
長崎大学	河本 和明	プラネタリーヘルスを担う博士人材育成のための学際的教育システムの構築
名古屋工業大学	井門 康司	複数指導教員体制による未来を切り拓く次世代研究者育成プロジェクト
名古屋市立大学	澤本 和延	イノベーション創出に資する次世代研究者エンパワメントプログラム
名古屋大学／ 岐阜大学	藤巻 朗／ 小山 博之	東海国立大学機構メイク・ニュー・スタンダード次世代研究事業
奈良女子大学	山内 茂雄	奈良女子大学次世代研究者育成プログラムSGC-NEXUS
奈良先端科学技術 大学院大学	加藤 博一	先端科学技術融合分野におけるイノベティブ博士人材支援プロジェクトVer. 2 (NAIST Granite Program)
新潟医療福祉大学※	大西 秀明	Society 5.0における共生社会を先導する次世代QOLサポーター育成プロジェクト: Next-Generation QOL Supporter Advancement Project (NQSAP)
新潟大学	本田 明治	未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト
一橋大学※	稲葉 哲郎	「The Bridge to the Future」一橋大学博士イノベーション人材育成プロジェクト
兵庫県立大学	豊田 紀章	GX, DXによる社会課題解決にむけた兵庫県立大学型次世代研究者育成プログラム

弘前大学	金本 俊幾	医理工を核とした科学技術・イノベーション創出研究者の育成
広島大学	島田 昌之	広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム
福井大学※	明石 行生	研究力高度化を推進力とする「ふくいGlobal Imaginer育成制度」の構築
北陸先端科学技術大学院大学	飯田 弘之	未来創造イノベーション博士人材支援プログラム
北海道大学	石森 浩一郎	ExcellenceとExtensionの融合による未来社会の開拓者育成プログラム
三重大学	矢野 賢一	三重の価値が育む博士人材創出プロジェクト「常若」(TOKOWAKA)ー社会との共創で未来を拓く、可能性豊かな若手研究者創出への挑戦ー
宮崎大学	池田 正浩	宮崎大学の高度異分野融合性を活用した次世代研究者支援プロジェクト
室蘭工業大学	董 冕雄	次世代イノベーションを駆動する異分野融合博士人材育成支援プロジェクト
山形大学	伊藤 浩志	やまがた次世代共創イノベーション人材育成プログラム
山口大学	堤 宏守	深化した“シン・文殊グループ”を核とする異分野融合研究実践型博士後期課程学生育成プロジェクト
山梨大学	奥田 徹	“越境”による拡張型博士人材の育成
横浜国立大学※	四方 順司	持続可能なイノベーションを牽引するインクルーシブ・リーダーシップ養成プロジェクト
横浜市立大学	橘 勝	データ思考イノベティブ人材育成プログラム
立命館大学	徳田 昭雄	立命館先進研究アカデミー学生フェローシッププログラム(RARA×SPRING)
早稲田大学	本間 敬之	早稲田オープン・イノベーション・エコシステム挑戦的研究プログラム

※は今回の公募により、新たにSPRINGを実施することになった大学。

## 「次世代研究者挑戦的研究プログラム」委員会 委員一覧

役割	氏名	所属・役職
委員長	笠原 博徳	早稲田大学 理工学術院 教授
委員	大隅 典子	東北大学 副学長／大学院医学系研究科 教授
委員	尾上 孝雄	大阪大学 理事・副学長
委員	神成 文彦	慶應義塾大学 理工学部 名誉教授
委員	佐藤 康博	株式会社みずほフィナンシャルグループ 特別顧問
委員	島田 啓一郎	ソニーグループ株式会社 社友
委員	杉山 直	名古屋大学 総長
委員	橋本 隆子	千葉商科大学 副学長／商経学部 教授
委員	長谷山 美紀	北海道大学 副学長／大学院情報科学院 研究院長
委員	林 隆之	政策研究大学院大学 政策研究科 教授
委員	樋原 伸彦	早稲田大学ビジネススクール 准教授
委員	日比谷 潤子	聖心女子学院 常務理事

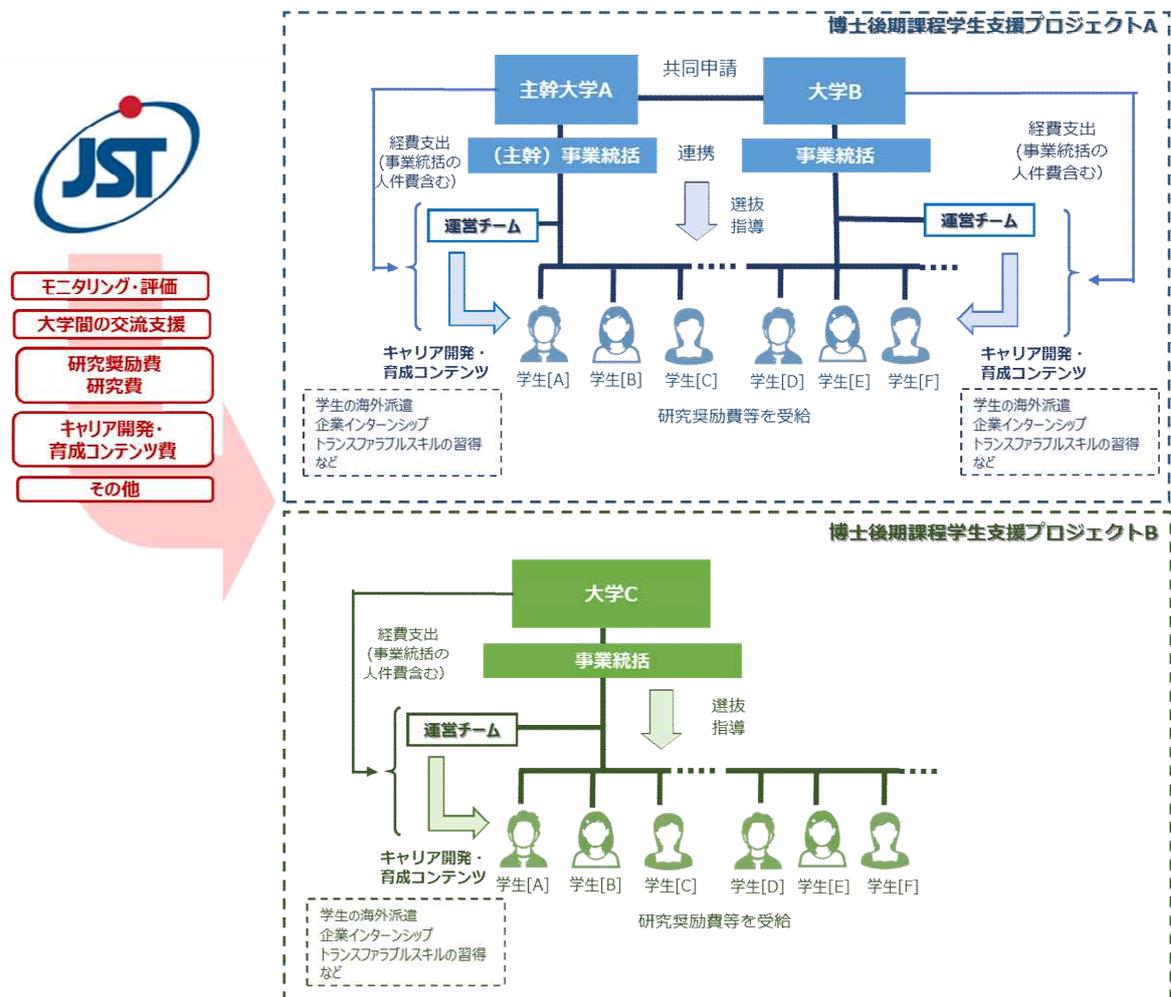
(令和6年2月現在)

## 「次世代研究者挑戦的研究プログラム」公募概要

### 1. 事業の趣旨

博士後期課程の学生は、日本の科学技術・イノベーションの将来を担う存在ですが、近年、「進学すると生活の経済的な見通しが立たない」「課程修了後の就職が心配だ」といった理由から、修士課程から博士後期課程への進学者数や進学率に減少傾向が見られ、危機的な状況が指摘されています。志ある優秀な博士後期課程の学生への経済的な支援を抜本的に強化し、博士人材が幅広く活躍するための多様なキャリアパスを整備するなど、日本の博士課程教育システムの改革が強く求められています。

本事業では、このような状況を打破するため、既存の枠組みを越えて選抜された優秀な博士後期課程の学生に対して生活費相当額および研究費の支給や、キャリア開発・育成コンテンツなどの支援を提供します。



## 2. 事業の概要

博士後期課程の学生への支援構想である「博士後期課程学生支援プロジェクト」を提案し、その提案を各大学で責任者として実施する事業統括を募集します。

当該事業統括により選抜された優秀な博士後期課程の学生には、所属元の変更などのポータビリティを担保した上で自身の自由で挑戦的・融合的な研究に専念できる環境を提供します。併せて当該学生に対しては、生活費相当額および研究費の支給や、キャリア開発・育成コンテンツ（国際性や学際性の養成、トランスファラブルスキルの習得<sup>注)</sup>、インターンシップなど）を始めとするさまざまな支援が提供されます。

なお、これらの取り組みを円滑に実施するため、事業統括は、自身の業務遂行を支える運営チームを編成することとします。

### 注) トランスファラブルスキル

社会人に求められる能力のうち、特に転用・応用可能で、分野や業態を問わず活用するために必要となる汎用性の高いものを指す。

## 3. 事業の特徴

本事業は、修士課程から博士後期課程への進学者数・進学率の減少の背景として指摘される、経済面やキャリアパスの不安などを解消するため、生活費相当額および研究費支給やキャリア開発・育成支援などを行うのが特徴です。

本事業を通じ、①優秀な志ある博士後期課程学生への経済的支援を抜本的に強化し、②博士人材が幅広く活躍するための多様なキャリアパスを整備し、③それらに資する日本の博士課程教育システム改革の推進を目指します。

## 4. 実施経費・実施期間

### (1) 実施経費

博士後期課程学生 1 人当たりの支給額は 290 万円程度/年  
(生活費相当額+研究費)

※学生 1 人当たり下限を 220 万円とし、事業統括の裁量により変動

### (2) 実施期間

安定的な事業継続を行う予定。

(選定された大学の取組状況や大学ファンドの運用益による支援策の検討などを踏まえて、毎年度、継続を判断)

### (3) 募集期間

令和 5 年 11 月 24 日 (金) から 12 月 25 日 (月) 正午